

平成 26 年度地域医療・介護連携推進事業 一関コミュニティFM (FM あすも) 番組
放送日：平成 27 年 2 月 11 日 (水) 17:20~17:35 (塩竈一常 GET KING!!)
(再放送：2 月 15 日 (日) 9:10~9:25 REFRESH!!)

「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」
第 15 回放送 一関西部地域包括支援センター 高橋 恵 主任保健師

(聞き手：FM あすも 塩竈一常)

塩竈 「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」一関市では、高齢化が進む中、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療から介護への切れ目ないサービスを目指しています。このコーナーでは、2 週間に 1 回、医療機関や介護施設の役割、また利用方法などを医療・介護・福祉の関係者とそして私たち市民が、ともに理解、協力することを目的に一関市健康づくり課の提供でお送りします。

塩竈 前回このコーナーでは、一関東部地域包括支援センターの鈴木さんをお招きしまして、この地域包括支援センターとは一体どういったものなのか、包括的支援事業、一体どういったものかというその概要をご説明いただきました。今週は、一関西部地域包括支援センターからゲストの方をお招きしてお話を伺っていきます。

塩竈 今日スタジオには、一関西部地域包括支援センター主任保健師の高橋恵さんにお越しいただきました。高橋さん、よろしくお願ひします。

高橋 よろしくお願ひします。

塩竈 先々週は、東部地域包括支援センターからゲストお越しいただきまして、お話を伺いました。この地域包括支援センターなんですけれども、地域の皆さんの心、それから身体の健康を保っていく、また生活の安定のために必要な援助を行っていくということで、平成 18 年度から介護保険法により設置されている機関、その私たちの住んでいる一関の中でも西磐井、それから東磐井、いろいろそういった地域の違いというものもありますので、その実情に合わせた取

組というのをやっているという話を伺いました。さあ今日はこの地域包括支援センターで行われている取組、先々週は主な活動の内容等を伺ってきたんですけれども、今回は高橋さんにですね、具体的にどのような取組をされているかというのを伺いしていきたいと思います。

塩竈 高橋さんがお仕事をされているこの「西部地域包括支援センター」ですけれども、こちらにも多くの皆さんから相談がくるかと思うんですけれども、どういった方々からの相談があるのでしょうか。

高橋 そうですね、様々な相談の中には、高齢者ご本人さんからではなくて、地区の民生委員の方から相談を受けることがあります。在宅介護支援センターなどの関係機関と連絡をとって対応する場合もありますが、包括職員が家庭訪問を行い、状況を確認に行く場合もあります。高齢者世帯が多くなっておりますので相談件数は増加しています。中には、認知症などの症状により、ご自分の課題を認識していない場合もあります。そういう場合、地域の方々と相談しながら継続して関わることもあります。

塩竈 なるほど。ご本人からの相談だけではなく、地域の皆さんからもそういった相談というのが多く寄せられる場所ということなんですね。この地域包括支援センターでは、そちらで行われている取組の数々をご紹ひいただきたいと思うんですが、まずは「地域ケア会議」こういったものがあるそうですね。

高橋 担当しているケアマネジャーさんや地

域の方からの相談によっては、地域ケア会議を行うことがあります。この地域ケア会議は、包括職員が主となって、地域の人や関係者が一堂に会して話し合い、情報を共有しながら少しずつ支援に繋ぐものです。会議と言うとあらたまった印象を受ける方が多いかもしれませんが、参加者相互に知恵を出しながら、今後の生活について考え相談する場とも言えます。

塩竈 これは対象になる方おひとりに対して、どういったそういった地域でケアができるかっていうところ関係する皆さんがこうやって集まってくるという、その事例に合わせてそういった会議が設けられるということなんですね。

高橋 そうですね。

塩竈 確かに今おっしゃったように、その会議というふうに言われると何かあらたまった感じがありますけれども、どのようにその方を地域で支えていくか、相談する場所というのが設けられるわけですね。ここを通して、高橋さん感じられることって何かありますか。

高橋 そうですね。安心してやはり生活できる環境が整うまでには、それぞれなんですけれども、時間がかかることも結構あります。ただ、こうした地域ケア会議を積み重ねることで、どの方に対しても高齢になって、そのおひとりおひとりがその人らしく生活できるような地域に近づいていく一助になれば良いと考えております。

塩竈 実際に、自分についてこうやって話し合ってもらっている、そういった場所ってあるかも知れませんが、自分自身がそういった場所に関わることで、例えば、自分がこれから先、高齢になった時に、どういったケアを受けていくべきか、それから家族はどういうふうに関わっていくかって気付くきっかけにもなるかも知れませんね。

高橋 はい。

塩竈 この地域ケア会議、参加される方、地域の方々、それからご親族の方にも同席いただくことがあるそうなんです。

高橋 はい。

塩竈 こういった方々には、地域包括支援センターからお声を掛けるということになるのでしょうか。

高橋 地域包括支援センターから声を掛けることもありますので、皆さん、声を掛けられた際には、ちょっと行きづらいなと思わないで、ご参加、ご協力いただければありがたいと思います。

塩竈 その助け合いというところがありますので、いずれ自分がそういったところに関わってくるっていうのが出てくるかも知れませんが、こういった機会で、その地域に関わっていく良いきっかけにさせていただければと思います。

塩竈 さて、さらに地域包括支援センターでは「認知症サポーター養成講座」というものも行われているんですね。

高橋 要望を受けて認知症サポーター養成講座を実施しております。認知症サポーター養成講座を受講いただいた人は、認知症サポーターとして、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者になっていただいています。講座を受講した方には認知症サポーターの目印として、このオレンジリングというのを渡しています。これまでサロンや元氣いきいき教室、個人のグループ組織や企業で講座を開催してきました。ほかの包括支援センターでは、小学校で開催しているところもあります。高齢者が増えるこれからの時代は、認知症の方も増加すると予想されておまして、認知症になっても住みやすいと思える地域づくりも必要と言われています。

塩竈 家族の中で突然、この認知症というもの

に向き合うとなると、いろいろな驚きであったりとか、不意にそういった出来事があるっていうふうになると心の準備もなかなかできていないっていう方も多いかもかもしれません。そういう話をよく聞くんですけども、こういったサポーター養成講座というのを普段から受けておくことで、いざという時へのそういった心構えというのもできそうですね。

高橋 はい。

塩竈 この養成講座、参加する方とか、きっかけ、こういった感じでお越しいただく方が多いですか。

高橋 地域で何かお勉強会をしたいんですけどと言う場合もあります。

塩竈 なるほど。地域全体でそういったところに向き合おうっていう動きが、こういったサポーター養成講座の中でも生まれてきているんですね。この養成講座ですが、事務局はどちらで実施されているんでしょう。

高橋 事務局は一関市ですと一関市役所社会福祉課の高齢福祉係、平泉町ですと平泉町保健センターになります。

塩竈 ご興味ある方は、是非こちらのほうに問い合わせさせていただきたいと思います。

塩竈 さて、西部地域包括支援センターの高橋さんに今日はお越しいただいてお話を伺っているんですけども、地域ごとで様々なこういった取組が行われ始めているというところが今日は分かりました。高橋さん関わっていらっしゃるところで、「一関地区認知症の人と家族の会」、こういった会があるそうなんです。

高橋 はい。そちらのほうにも参加しているんですけども、この会は、認知症の人とその家族、介護に携わる方など、どなたでも参加できる集う場所として、家族の会の岩淵さんが世話人となって行っているものです。

塩竈 会は、普段はどういった活動をされているんでしょうか。

高橋 普段はですね、月に1回なんですけれども、認知症介護の相談を行ったり、介護家族の息抜き場としてコーヒ等を飲みながら一緒に話をしています。以前は、一関市総合福祉センターの3階で行っていましたが、現在は認知症のご本人さんが参加されてもくつろげるようにということで、一関市総合福祉センターの1階、喫茶ぷくぷくさんで行うようになりました。

塩竈 介護を取り巻く環境というのは、本当に国の取組というのいろいろな新たなものが始まったりとかですね、生まれてくるところもあるでしょうし、その介護に必要なグッズというのも新しいものが出てきたりということもあるでしょうから、そういった情報交換もきっとできるでしょうし、何よりも、今お話にありましたけれども、介護される家族のその息抜き場、これも大事ですよ。

高橋 はい、そうですね。

塩竈 いろいろな皆さんからいろいろな意見であったりとか感想というのがあるかと思えますけれども、高橋さん、ここに参加されてみていろいろ感じることもあるかと思えますけども。

高橋 普段思っていることをお話いただいて、少しすっきりした表情でお帰りになっているかなと思います。

塩竈 なるほど。そういった場所というのが、ここにあるだけでも心強さというのが生まれてきますよね。こちらに参加されている方々、そのご本人の方もそうですし、家族の方々、それから世話人の方々もいらっしゃるということなんですけれども、西部地域包括支援センターの職員の方々も参加していらっしゃる、ほかにもいろいろな職員の方々が参加されているそうですね。

高橋 高齢者総合相談センターさくらまの職員や、あとは交代で、在宅介護支援センターの職員も参加しております。

塩竈 そうですね。こちら開催されている日時はいかがでしょう。

高橋 毎月第3水曜日の10時から12時となっております。

塩竈 お聞きしましたら、参加費は飲み物代100円ということです。これまであまり会に関わっていなかったという方々も、今お話にこうありましたけれども、様々な相談、それからいろいろそういった普段の生活の感想であったりとか、こういったところを交流する良い機械かと思しますので、参加されてみたらいかがでしょう。

塩竈 今日は、西部地域包括支援センターについていろいろお話を伺ってきたんですが、窓口のご紹介をいただきたいと思えます。まずは、その相談ごとですね、高齢者の方からのご相談、また地域で気になる高齢者の方がいるという方、この地域包括支援センターまで連絡をお願いします。一関地域のうち、それぞれの地区ごとに窓口が分かれているということなんですけれども、まずは高橋さん、一関地域のうち山目、中里、巖美、萩荘それぞれの地区の皆さん、どちらに連絡をしたらいいでしょうか。

高橋 「一関西部地域包括支援センター」、場所は一関市役所1階の10番窓口になります。

塩竈 電話番号が21-8618となっています。そして、一関地域のうち一関、真滝、舞川、弥栄それぞれの地域の皆さん、こちらの相談窓口はどちらになりますか。

高橋 「高齢者総合相談センターさくらま」になります。場所はサン・アビリティーズ一関の左奥にあります。

塩竈 こちらの電話番号は48-3180です。続い

ては花泉地域、こちらの皆さんはどちらに問い合わせをしたら良いでしょうか。

高橋 「高齢者総合相談センターはないずみ」で、一関市役所花泉支所の1階にあります。

塩竈 こちらの電話番号は36-3021となっています。そして平泉地域、こちらの相談窓口も教えてください。

高橋 「高齢者総合相談センターひらいずみ」で、平泉町福祉活動センター内にあります。

塩竈 こちらの電話番号は46-5653となっています。一関地区広域行政組合では西磐井の地域、それから東磐井の地域、それぞれの地域性に応じた地域包括ケアシステム、その構築を目指しまして、様々な所にこういった拠点を整備しているということです。今日は一関西部地域包括支援センターの主任保健師、高橋恵さんにお越しいただきましてお話を伺いました。高橋さん、ありがとうございました。

高橋 ありがとうございました。

塩竈 私たちが住んでいるこの一関の町では高齢化が進む、これはよくみなさんも耳にするところですよ。住み慣れているこの地域で、安心して暮らせるように、今お聞きいただいたように、医療から介護への切れ目ないサービスを目指して取り組みが行われています。それぞれの役割、また利用方法など、医療・介護・福祉、実際にそれに直面している方々だけではなく、これからそこに向かい合っていくという方々も、しっかりと情報を得ておくというのは大事ですね。市民のみなさんが共に理解協力することを目的に、再来週もこのコーナーお送りしていきます。地域医療体制充実のため、私たちも積極的に関わっていきましょう。「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」。このコーナーは、一関市健康づくり課の提供でお送りしました。